

---

## コースと図書リストワークフロー

---

### Note

このページでは、コースと図書リストのワークフローについて説明します。コースと図書リストのワークフローの概要については、[ワークフロー](#)をご覧ください。

フルフィルメントに関するすべての主な文書ページへのリンクは、[フルフィルメント](#)をご覧ください。

---

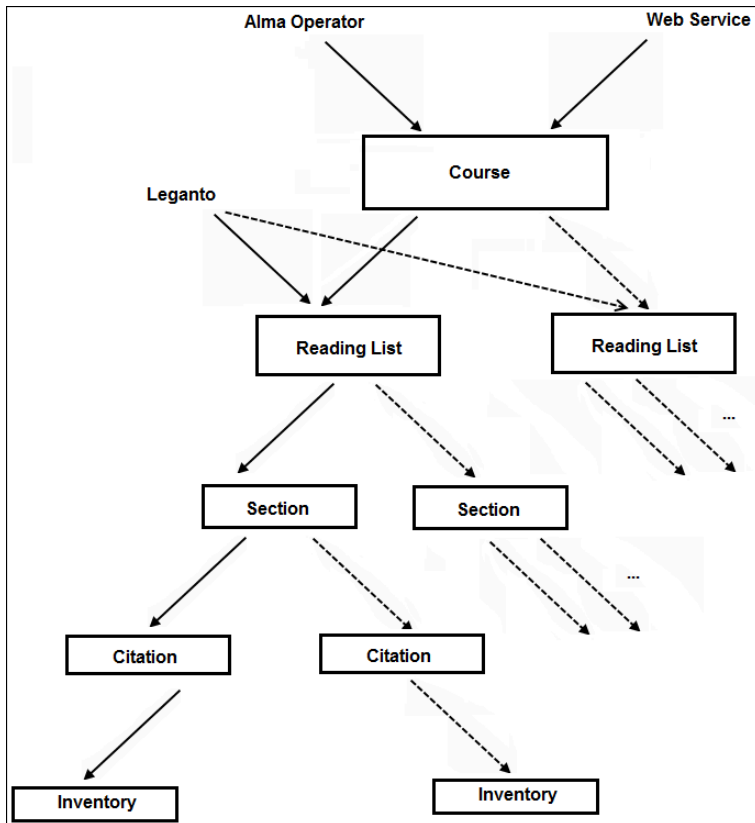
コース、図書リスト、引用は、Almaユーザーインターフェイスを使用して手動で管理するか、Ex Libris LegantoやAlmaウェブサービスなどの外部サービスによって自動的に管理できます。このセクションでは、Almaを使用したこれらのエンティティの手動処理について説明します。Almaウェブサービスを使用してこれらのエンティティを処理する方法については、Ex Libris開発者ネットワークの「[コースAPI](#)」を参照してください。

次の図は、コース、図書リスト、セクション、引用エンティティの階層を示しています。

- 引用は基本的な処理単位です。引用は、Alma目録やウェブサイトなどのリソースを指します。それらは通常、処理する必要のある図書リストのタイトル（予約エリアとの間の移動、デジタル化）、または必要な図書リストの一部である学部所有のコピーです。引用には、コースリスト内のコースまたは図書リストタスクリスト（システム内のすべての図書リストがリストされ、特定のオペレータへの割り当てによってフィルタ処理されます）からアクセスできます。
- 引用は、図書リスト内の1つ以上のセクションに接続されています。セクションは、「第一週」や「オプション」など、図書リスト内の論理グループです。同じ引用が複数のセクションに表示される場合があります。

セクションの管理に使用できるのはLegantoのみです。

- 図書リストは単一のコースに接続されています。ただし、Legantoを使用している場合、図書リストは複数のコースに接続できます。コースには複数の図書リストを含めることができます。たとえば、別々の図書館で処理される図書リストなどです。



コースの階層、図書リスト、セクション、引用エンティティ

コースと図書リストを管理するタスクには、次の要素が含まれます。

1. 新しいコース、図書リスト、引用を作成します。

司書は、直接または[コース読み込み統合プロファイル](#)を使用して、コースを作成します。コースを作成するときに、インストラクター（インストラクターの役職を持つユーザー）をコースに追加できます。インストラクターは、Legantoを使用して図書リストと引用を追加または管理できます（[Legantoの概要](#)を参照）。司書は、LegantoまたはAlmaを使用して、図書リストと引用を管理できます。

Legantoでは、インストラクターはコースに関連付けられていない図書リストを作成できます（図書館で有効になっている場合は、コースを作成することもできます）。インストラクターがコースに関連付けられた図書リストを作成できるように、または図書リストをコースに関連付けられるようにするには、司書はまずインストラクターをAlmaのコースに追加する必要があります。

最初に図書リストを作成するユーザーは、図書リストの所有者です。所有者（または司書）は、他のインストラクターを所有者または協力者として招待できます。共同編集者はリストを管理できますが、削除することはできません。図書リストの所有者と共同編集者は、Legantoにのみ関連します。

- 新しいコースの作成については、[コースの追加](#)を参照してください。
- 新しい図書リストの作成については、[図書リストの追加](#)を参照してください。
- 新しい引用の作成については、[引用を図書リストに追加する](#)を参照してください。
- Almaで図書リストの所有を管理する方法については、[図書リストの所有の設定](#)を参照してください。

2. 新しく作成された引用と図書リストのステータスは準備中です。インストラクターがLegantoを使用して図書リストを作成すると、インストラクターは図書館にアイテムを送信できます。引用、図書リストセクション、または図書リスト全体の処理の準備ができたことを図書館に通知します。これにより、引用や図書リストのステータスがプロセス

準備完了に変更されます。一部の引用は、Legantoパラメータに基づいて自動的に完了とマークされる場合があることに注意してください（[引用/図書リストのデフォルトステータスの設定](#)を参照）。

3. コース開始のための既存の図書リストの準備。これは次の方法で実現できます。
  - 既存の図書リストを学部メンバーにコメントとして送信します。図書リストは、コースリーディングリストページでエクスポートできます（[図書リストの管理](#)を参照）。図書リストは、学部のフィードバックに基づいてアップデートできます。
  - 処理を必要とする引用（不完全な引用など）でジョブできるようにするために、引用ステータスで図書リストをフィルタ処理します。詳細については、[引用の管理](#)を参照してください。
  - 棚からアイテムを取得して予約エリアに移動したり、リモートアイテムにリクエストを送信したりします。詳細については、[引用の管理](#)を参照してください。
4. 処理中の図書リストは、処理中としてマークされます。処理中の引用は、処理中としてマークされます。完了すると、図書リストと引用は完了としてマークされます。
  - Legantoを使用している場合、インストラクターまたは司書は、学生がリストを表示できるように図書リストの発行ステータスをドラフトから変更する必要があります。
  - Primoに発行する場合、図書リスト情報も他のデータとともに発行する必要があります。
5. 図書リストの終了日を使用してコースの終了を管理します。終了日でのジョブの詳細については、[図書リストの返却期限日の管理](#)を参照してください。
6. ほとんどの場合、コースが終了すると、図書リストは変更され、図書リストのステータスが非アクティブになります。それらをAlmaから削除することができます（個別に、またはジョブを使用して）。インストラクターはLegantoからそれらを削除できます。Legantoを使用している場合、削除された図書リストを処理するさまざまな方法を設定できます。
  - それらを非アクティブとしてマークしたり、削除したりできます。
  - インストラクターがLegantoの図書リストを削除しても、発行ステータスが削除済みのままAlmaに残るように設定できます。削除されたリストはLegantoには表示されず、検索結果にも表示されず、アナリティックスにも表示されません。司書は、図書リストを削除または復元できます。
  - 司書は、図書リストを削除するのではなく、図書リストの発行ステータスをアーカイブ済みに設定できます。アーカイブリストはLegantoには表示されず、検索結果にも表示されませんが、アナリティックスには引き続き表示されます。司書は、図書リストを消去またはアーカイブ解除できます。
7. [コースの読み込み統合プロファイル](#)を使用して、コースを削除したり、図書リストを年ごとに一括してロールオーバーしたりできます。Legantoでは、インストラクターが図書リストを1つずつロールオーバーできます。